

2024年度 ソフトバレーボール ルールブックの一部再訂正について

2024年度版ソフトバレーボールのルールブックについては、先に下記の1と2の2点についての誤植訂正をしておりますが、新たな下記の3（口囲み内容）の誤植が確認されましたので訂正します。

1 ルールブック P9

31 主審と副審の公式ハンドシグナル（第10図）

第10図主審と副審の公式ハンドシグナルの文中、三つ目の「●」

●ペネトレーションフォルト ⑮

訂正前 規則 17.4.5、7.4.6、22.1、26.2.2.2.(d)、27.2.2.6

↓

訂正後 規則 17.4.5、17.4.6、22.1、26.2.2.2.(d)、27.2.2.6

2 ルールブック P47

第10図 主審と副審の公式ハンドシグナルの図中

●ペネトレーションフォルト⑮

訂正前 規則 17.4.5、7.4.6、22.1、26.2.2.2.(d)、27.2.2.6

↓

訂正後 規則 17.4.5、17.4.6、22.1、26.2.2.2.(d)、27.2.2.6

3 ルールブック P34

22 プレー上の反則

訂正前 22.1.3 センターラインを完全に越えて、相手コートに接触したとき。ただし、片方の足（両足）または片方の手（両手）の一部がセンターラインに接触しているか、その真上に残っていなければ許される。しかし、肘、膝、頭などの身体部分が相手コートに接触した場合は反則となる。

↓

訂正後 22.1.3 センターラインを完全に越えて、相手コートに接触したとき。ただし、片方の足（両足）または片方の手（両手）の一部がセンターラインに接触しているか、その真上に残っていれば許される。しかし、肘、膝、頭などの身体部分が相手コートに接触した場合は反則となる。（第8図）

※なお、修正点をまとめた本条項に関する内容 P8 の記載内容は、訂正後の内容で記載されています。